

平成 20 年 6 月 11 日  
西日本高速道路株式会社

平成 20 年 3 月期 決算概要

連結決算概要（経営成績）について

（単位：億円）

区 分	H20/3 期 (A)	H19/3 期 (B)	対前年比		
			(A)－(B)	$\frac{(A)-(B)}{(B)}$ %	
営業収益	高速道路事業	8,187	6,993	1,194	17.1
	(料金収入)	6,553	6,637	▲ 83	▲ 1.3
	(道路資産完成高等)	1,633	355	1,277	359.0
	関連事業	1,015	885	130	14.7
	(SA・PA事業 <sup>※2</sup> )	229	238	▲ 8	▲ 3.6
	(受託事業等)	785	647	138	21.5
	<b>9,203</b>	<b>7,878</b>	<b>1,324</b>	<b>16.8</b>	
営業費用	高速道路事業	8,149	6,868	1,281	18.7
	(道路資産賃借料)	4,912	4,917	▲ 5	▲ 0.1
	うち協定額	4,906	4,816	89	1.9
	うち変動貸付料部分	6	101	▲ 95	▲ 93.7
	(管理費用)	1,660	1,613	46	2.9
	(道路資産完成原価)	1,577	336	1,240	368.7
	関連事業	956	820	135	16.5
	(SA・PA事業 <sup>※2</sup> )	172	174	▲ 1	▲ 1.1
	(受託事業等)	784	646	137	21.3
	<b>9,106</b>	<b>7,688</b>	<b>1,417</b>	<b>18.4</b>	
営業利益	高速道路事業	37	125	▲ 87	▲ 70.0
	関連事業	59	64	▲ 5	▲ 8.1
	<b>96</b>	<b>190</b>	<b>▲ 93</b>	<b>▲ 49.0</b>	
経常利益	<b>116</b>	<b>194</b>	<b>▲ 78</b>	<b>▲ 40.3</b>	
当期純利益	<b>76</b>	<b>120</b>	<b>▲ 43</b>	<b>▲ 36.2</b>	

※1 当社グループは、当社及び子会社 17 社、持分法適用の関連会社 5 社で構成されており、高速道路事業、SA・PA事業、受託事業、その他の事業を行っております。

なお、本年 4 月 1 日に高速道路の不動産関連事業及び人材派遣事業を営む子会社を設立しており、現時点のグループ構成は当社及び子会社 18 社、持分法適用の関連会社 5 社となります。

※2 高速道路のサービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）で行なう物販・飲食等の事業をいいます。

## 高速道路事業トピックス

- 当期における高速道路の通行台数は、緩やかな景気回復に支えられ、前年同期比 0.9%増加しましたが、**E T C利用率が前年比 5.9 ポイント増の 67.6%**（平成 20 年 3 月平均利用率）に増加し、**E T Cの割引利用が増加**したことにより、高速道路料金収入は前期比 83 億円減の 6,553 億円となりました。
  - 地域やお客様への還元を目的に、E T Cを活用した企画割引として、新名神高速道路や阪和自動車道において早期開通割引を実施しました。
  
- 高速道路の維持管理につきましては、「**100%の安全**」と「**CSの向上**」を目指し、**お客様に満足いただけるサービスの提供**に努めました。
  - より効率的で質の高いお客様サービスの提供を実現するため、当期に高速道路の維持管理業務を行う子会社 15 社と一体となった管理体制を確立しました。
  - 道路構造物の補修や道路を良好に保つための清掃・点検、交通の安全確保のための巡回、料金所における接客サービスの向上への取組みなどを実施したのに加え、さらに安全対策として、雨天時の事故防止効果の高い高機能舗装の整備や、道路構造物老朽化対策のための橋梁剥落対策や道路付属物の点検等について強化しました。
  - この結果、当期の道路管理費用は、前期比 46 億円増の 1,660 億円となりました。
  
- 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下、「機構」という）に対する**道路資産賃借料は、変動貸付料制に基づく追加貸付料 6 億円を含めて 4,912 億円となり、機構の債務償還に寄与**しています。
  - 道路資産賃借料は前期比 5 億円の減少となりましたが、これは、①協定上の道路資産賃借料が前期比 89 億円増加したものの ②前期は料金収入実績が協定に定める計画収入の変動幅を大幅に上回ったことから 101 億円を道路資産賃借料に追加計上したのに対し、当期は料金収入がほぼ計画通りで道路資産賃借料の追加が 6 億円に留まった ことによります。
  
- 高速道路建設事業におきましては、**高速道路ネットワークの早期整備、安全で円滑な交通の確保及び利便性の向上**を目指し、計画的かつ着実に**事業を推進**しました。
  - 平成 20 年 2 月 23 日には新名神高速道路（甲賀土山インターチェンジ～草津田上インターチェンジ）が当初の計画を約 1 年前倒しして開通したほか、平成 19 年 11 月 11 日に阪和自動車道（みなべインターチェンジ～南紀田辺イ

ンターチェンジ) が開通するなどした結果、当期に機構に完成引渡しした道路資産完成高は、前期比 1,240 億円増の 1,577 億円となりました。

## 関連事業トピックス

- 関連事業の柱である SA・PA 事業においては、当社グループ及びテナント各社が一体となって、SA・PA を「お客様満足施設」、「地域とともに発展するエリア」へと変革していくことを目指したサービスレベルの向上に取り組みました。
  - お客様に対する収益還元として、昨年 10 月から第一日曜日をお客様感謝 DAY として SA・PA のレストラン、ショッピングコーナー、スナックコーナー(20 年 1 月から実施)の商品を 2 割引で提供するキャンペーンを実施しました。
  - 既存店舗の改修、「ハイウェイコンビニ」「ドラッグ・メディカルコーナー」の設置並びに「ドッグラン」の整備、スナックコーナーの「フードコート化」などを実施するとともに、新たに、「ハイウェイオフィス」の設置及び「カフェ店舗」の整備等、施設、設備の充実に努めました。
  - SA・PA のトイレに洗浄器付き便座を設置し、設備改善を進めました。
  - 以上のような事業拡大施策を実施した結果、テナントの店舗売上高は前期比 30 億円増の 1,257 億円となりました。
  - 一方、テナントからの営業料収入等による当期の SA・PA 事業の営業収益は、テナントの店舗売上高増に伴う収益増があるものの、ガスターション(以下、「GS」という)の賃料改定による減収により前期比 8 億円減の 229 億円となりました。なお、GS の賃料改定は、石油元売各社から採算の悪化している GS の退店要望が寄せられるなか、高速道路ご利用のお客様に安定的なサービスを提供していくことを目的に、GS 営業者の経営状況を改善し、継続的な事業運営ができるよう賃料を見直し(低減)たものです。
- 受託事業等におきましては、高速道路の計画・建設・管理の各段階を通じこれまで培ってきた技術力・ノウハウを活かした、新直轄方式による高速自動車国道の新設事業や一般国道 1 号の改築事業をはじめとする国や地方公共団体からの委託に基づく道路の新設、改築等を実施するとともに、駐車場事業、トラックターミナル事業、コンサルティング事業等を実施しました。

【参考】個別決算概要（経営成績）について

（単位：億円）

区 分	H20/3 期 (A)	H19/3 期 (B)	対前年比		
			(A)－(B)	$\frac{(A)-(B)}{(B)}$ %	
営業収益	高速道路事業	8,181	6,993	1,187	17.0
	（料金収入）	6,554	6,637	▲ 83	▲ 1.3
	（道路資産完成高等）	1,626	355	1,270	357.3
	関連事業	854	735	118	16.1
	（SA・PA事業 <sup>※2</sup> ）	96	92	3	4.2
	（受託事業等）	757	643	114	17.8
	9,035	7,729	1,305	16.9	
営業費用	高速道路事業	8,142	6,869	1,273	18.5
	（道路資産賃借料）	4,912	4,917	▲ 5	▲ 0.1
	うち協定額	4,906	4,816	89	1.9
	うち変動貸付料部分	6	101	▲ 95	▲ 93.7
	（管理費用）	1,653	1,614	38	2.4
	（道路資産完成原価）	1,577	336	1,240	368.7
	関連事業	822	705	116	16.5
	（SA・PA事業 <sup>※2</sup> ）	63	61	1	2.8
	（受託事業等）	759	644	114	17.8
	8,965	7,575	1,390	18.4	
営業利益	高速道路事業	38	124	▲ 86	▲ 69.4
	関連事業	31	29	1	6.0
	69	154	▲ 84	▲ 54.7	
経常利益	77	157	▲ 80	▲ 51.1	
当期純利益	54	99	▲ 44	▲ 45.0	

【参考】連結・個別決算対比について

（単位：億円）

区 分	H20/3 期			
	連結 (A)	個別 (B)	連単倍率 (A/B)	
営業収益	高速道路事業	8,187	8,181	1.00
	（料金収入）	6,553	6,554	0.99
	（道路資産完成高等）	1,633	1,626	1.00
	関連事業	1,015	854	1.19
	（SA・PA事業）	229	96	2.38
	（受託事業等）	785	757	1.04
	9,203	9,035	1.02	
営業利益	高速道路事業	37	38	0.99
	関連事業	59	31	1.87
	96	69	1.39	
経常利益	116	77	1.51	
当期純利益	76	54	1.40	

# 平成19年度 連結貸借対照表増減

金額単位:億円

項目	H20/3期	H19/3期	増減額	対前年度増減内訳
連結資産	6,267	6,134	132	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕掛道路資産の増加 122 (建設投資1,699、完成道路引渡 1,577:新名神、阪和道 等)</li> <li>・固定資産の新規取得 183</li> <li>・固定資産の除却・売却等 50、当期減価償却 155 等</li> </ul>
連結負債	4,895	4,813	82	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有利子負債の増加 224</li> <li>・未払金の減少 128 (うち4月支払予定道路資産賃借料 94)</li> <li>・ETC前受金の減少 51 等</li> </ul>
連結純資産 (自己資本比率)	1,371 ( 21.2%)	1,320 ( 20.4%)	50 ( 0.8%)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当期純利益の計上 76</li> </ul>

# 平成19年度 連結キャッシュフロー計算書

金額単位: 億円

項目	H20/3期	H19/3期	増減額	対前年度増減内訳
<b>営業CF</b> (建設投資を除く	94 28	1,071 30	977 2	・建設投資(仕掛道路資産)に係る支出の増加 262( 1,437 1,699) 東九州道、四国道 ほか ・建設投資(仕掛道路資産) 完成道路引渡しの増加 1,241(336 1,577) 新名神、阪和道 ほか
<b>投資CF</b>	159	163	4	・固定資産の新規取得による支出の増加 15 ( 144 159) ・不用資産売却収入の増加 19(4 23)
<b>財務CF</b>	215	567	352	・道路資産引渡しに伴う有利子負債の機構引渡し 1,287( 356 1,643) ・新規社債・借入による資金調達 418 (1,456 1,874) ・借入金繰上返済 463 ( 463 0)
<b>現金増減額</b>	<b>38</b>	<b>654</b>	<b>616</b>	
<b>現金 期末残高</b>	<b>817</b>	<b>856</b>	<b>39</b>	

9

## 【道路会社のキャッシュフロー計算書】

- ・高速道路への建設投資は、道路会社にとって独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構に対する「商品」のため、投資額は『営業CF』のマイナスに整理し、これに見合う資金は借入調達するため『財務CF』のプラスとなる。
- ・高速道路が開通し機構に引き渡す時に、道路資産完成高を『営業CF』のプラス、借入金の引渡額を『財務CF』のマイナスとする。
- ・従って、道路会社は**高速道路への投資額が完成高を上回る決算期の『営業CF』はマイナスとなる場合がある。**

# 平成20年度業績予想

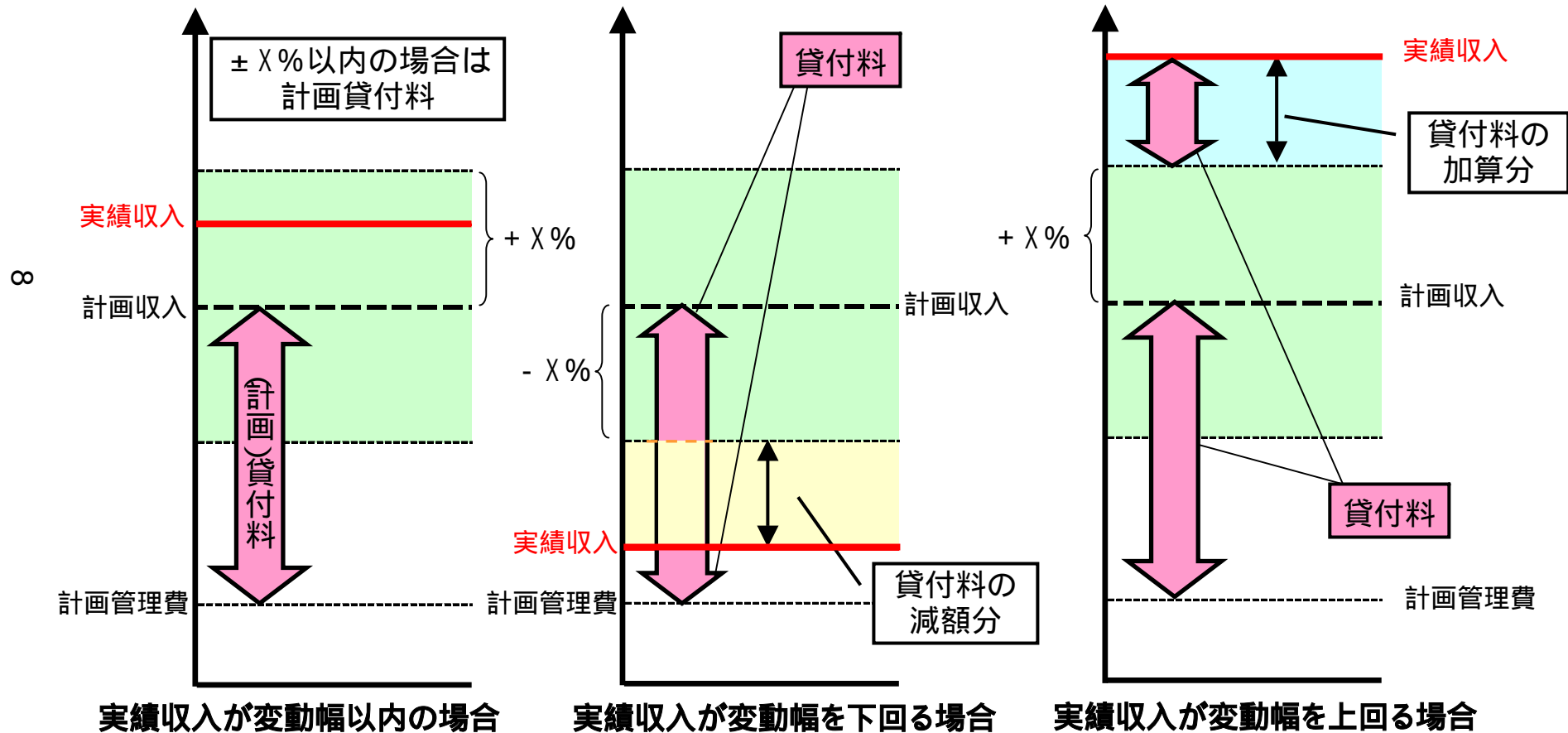
金額単位;億円

		連結 (a)	個別 (b)	差引 (a-b)	連単倍率 (a/b)
営業収益	高速道路事業	7,806	7,806	0	1.00
	うち、料金収入	6,666	6,666	0	1.00
	関連事業	936	761	174	1.23
	うち、SAPA事業営業収益	240	101	139	2.37
	計	8,742	8,567	175	1.02
営業利益	高速道路事業	10	10	0	1.00
	関連事業	48	28	20	1.73
	計	58	38	20	1.53
経常利益	55	28	27	1.97	
当期純利益	32	16	15	1.92	

# 協定 変動貸付料制

▶ 下記を目的に変動貸付料制を導入

- ・会社としては、通常の変動幅を下回る減収による経営の不安定化を回避
- ・機構としては、通常の変動幅を上回る増収を債務返済へ還元することによる償還確実性の向上



協定を概ね5年ごとに見直すと想定し、過去5年間の計画収入と実績収入との乖離をもとに設定

変動率: 全国路線網(1%)、広島呉道路(2%)、南阪奈道路(2%)、八木山バイパス(3%)、南風原道路(4%)